

令和4年 第6回森町教育委員会会議録

日 時：令和4年4月20日（水）10：00～

場 所：森町福祉センター（森町公民館） 1階 中会議室

出席委員：毛利教育長・三輪委員・長瀬委員・吉川委員・古川委員

出席者：坂田学校教育課長

河野学校教育課参事

須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長

西川学校教育課総務係長

石井学校教育課総務係主事

署名委員：長瀬委員・吉川委員

協議事項：報告第1号 史跡鷲ノ木遺跡整備基本計画について

議案第1号 令和4年度一般会計補正予算について

（毛利教育長）

皆さんおはようございます。これより令和4年度第6回森町教育委員会を開会いたします。会議に先立ちまして会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員に長瀬委員と吉川委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

最初に資料の方1枚めくっていただいて私の主な行政報告をまずしたいと思います。全部は読み上げませんが、5日に学校協議と書いております。森小学校と学校協議をしました。内容はですね、皆さんもご存じのとおり6日に始業式・入学式を控える中で、状況が大変心配されたことから、6日の状況によってどういった対応とするか協議をしました。結果的には登校した状況を踏まえてですね、結論を出したんですけれども、本当にすごい状況でした。極端な言い方をすると4人に1人ぐらいの陽性者数ということで、町内で森小学校が爆発的に広まったんですね。クラスターという表記が報道等でされないのは主に家庭内感染が多かったからで、そういった表現にはなりません。学校自体で感染している状態ではないということです。昨今報道でずいぶんクラスターとの報道がありましたけれども、学校内で感染しているというわけではないです。またスポーツ少年団でも陽性者が出まして、苦慮していたようなんですけれども、この状況に合わせてこの4月当初はですね、スポーツ少年団をはじめ、中学校の部活動にも協力をお願いしまして、とにかく活動を少し止めていました。森小学校自体は5日間の休校措置をとりました。結果、現在はかなり落ち着きを見せています。まだ0更新とはなかなかありませんけれども、現在は非常に落ち着いてきているという状況です。子供に関してですね。そういう状況になっていますので、引き続き感染症対策に努めながら、様子を見ながら今の考え方は活動を極力止めないで、感染症対策を併せて行いながら学校であれば学びを継続していただくかそういう形になっています。それから15日なんですけど、また森小学校と学校協議をしております。これはですね、皆さん承知のとおりですね、駒ヶ岳小学校と森幼稚園について耐震化診断の結果が出たの

を受けた一連のものであると受け止めてもらえればと思います。具体的には森幼稚園の園舎についてどうするかということなんですけれども、いくつか案がございまして、そのいくつかある案の中に森小学校の校舎を間借りと言うんでしょうか、そういった案も含まれているので、受け皿となる森小学校の方にそういった動きが出ているという事で校長と新しく来た教頭に協議をしていたところです。結論には至っておりませんのでそこまでというところなんですけれども。

それから18日に教育振興育英会の理事会を開きました。これはですね皆さんご承知かとは思いますが、森町の子供たちが色々な理由からですね、学びを遠く場で受けたいとか上級の学校で深めたいといったときに援助が欲しいと、援助を受ければ学びが達成できるという方たちに対して奨学金を支給しているというものです。今年度からですね、さらに返還については森町に在住する、要は森町で仕事をする方に関しては森町在学期間については返還義務を解くという新しいこともしまして、子供たちへの教育が森町に根付くというか森町の発展のために生きるように、町として応援しているという現れです。今後も継続していく事業です。

それから19日昨日ですね、森高校の管理職に来ていただいて、挨拶等を受けているんですが、ちょうど同じ日に下にありますように公立高等学校の配置計画地域別検討協議会というのがありまして、これはですね、北海道立学校ですから、道教委が適正規模を定めてそれに該当なくなると高校を統合したり閉校したりという流れになります。その協議会が開かれました。詳しくは言いません。言わないというのは森高等学校が該当していないからです。ですが、今年的人数が26人の入学生という事でちょっと懸念されてきているという事でございますので、森高校にとっては完全一間口の学校になってしまいましたから、そういう中でこれ以上入学者が減るとそういう状況になってしまうという形ですので、気を付けるというか、気を付けると言っても無理やり森を卒業したら森に行けというようなそういう乱暴な話にはなりませんので、ただ、森高校に懸念すべき人数が見られていると思います。この先中学校の卒業生も減っていきますので、森高校が無くなると町としても痛手ですので、森高校さんをお願いしてどんどん高校生の姿・顔が見えるようにそういった活動をしていただいて町民の皆さんにも森高校生の活躍ぶりを見ていただくというような風には校長先生も舵を切りたいという話でしたので、皆さんで応援していかなければならないと考えています。そして本日の第6回の教育委員会を迎えます。各課、学校教育課、社会教育課、体育課、生涯学習課、給食センター等と打ち合わせを重ねて私もこの町の現状だとか課題について把握しながら協力体制を進めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

教育長の行政報告を行いました。委員の皆さんから関連して何かありますでしょうか。

(三輪委員)

懸念事項となってきたんですね。

(毛利教育長)

そうなんです。森高校はちょっと懸念材料が出てきてしまったという状況なんです。すごく色々な活動が生徒の進路に合わせて色々な教育が可能な総合学科という風に転換してから相当年数経つんですけれども、何分人数が減ると教員数も今年5人減っているんです。16人いた教員が11人になっているんですよ。そのことも含めて森高校を盛り上げたいなと皆さんに思っていて、どのように盛り上げるかという工夫と啓発が大事だと思います。その他ございますか。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

はい、それでは行政報告を終わります、この後報告事項と協議事項がございますので、まずは報告第1号について説明をお願いします。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

令和2年度から令和3年度までの2年間かけ、森町史跡鷲ノ木遺跡整備委員会の各分野の専門家の皆さんに検討いただき、また、文化庁との協議も経て、この計画の策定に至っております。今後この計画を町民の皆さんに示し、ご意見をいただいたうえで今後の保存・整備・活用に向け進めて参りますが、全体的なイメージとしまして、令和8年度までの4年間で記載の68ページの第1次整備を行っていく予定でございます。この第1次整備は一部を除きましてガイダンス施設の仮設での設置を予定しております。第2次以降の整備に向けまして、保存と活用の計画を策定することも必要となりますが、恒久的なガイダンス施設につきましても、保存と活用の計画の中で改めて盛り込んでいくこととなっております。計画の第6章に完成予想図を掲載しておりますが、あくまで令和8年度までの第1次整備完了時点でのイメージであり、この完成予想図につきましても、今後変更が行われる場合もございます。説明は以上となります。

(毛利教育長)

はい、以上が報告なんです、非常に長期的な展望に立って活動しているところでございます。この中身を逐一読むには時間が足りないですが、何か皆さんからご質問等ございますか。

(吉川委員)

一つ良いですか。遺跡に対して下を高速道路が通っているんですが、これは何か遺跡に対して影響が出ているんでしょうか。以前聞いたのは遺跡が何センチか下がってきているということは聞いたのですが、今でもそういった状況は続いているんでしょうか。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

今現在大きく下がってきているというところはございません。ただですね、計画の中にもあるんですけども、一部地面が陥没した部分はございまして、その正確な原因というのが実はわからない状況ではあるんですけども、一部そういったところはございます。ただ、その部分は仮にということではございますが、補修をしている状況です。

(吉川委員)

補修というのは恐らくボックスカルバート、コンクリートの上に土がありますから、雨が降ると当然雨水が地下に浸透しますよね。そうすると下にコンクリートがありますから、土が横に流出するという事は絶対に避けられないですよね。その点に対しての対策は何かありますか。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

はい、この後の整備の中でその辺は対応する形になりますけれども、今年度ですね、遺跡の地下に水がどのくらい溜まっているのか、この後調査していくことになっています。时期的なものだとか委員がおっしゃったとおり水がどのくらい溜まっているのか、実際水がどっちに流れているかというのを把握するのは実際難しいんですけども、地下水がどういった風になっているのかを含めてこの後の整備の中で具体的な整備の内容に入らせていただきます。

(吉川委員)

わかりました。

(毛利教育長)

よろしいでしょうか。この間私もですね、須藤社会教育課長から色々説明を受けたところではあるんですけども、かなり専門家の力を借りないとですね、遺跡の保存というか、町としては結局は世界遺産登録という事ではなくて関連史跡という位置づけではありますから、整備を行って世界遺産登録となんとかしたいということでの長期的な展望に立ったものです。条件が整うとですね、交付金を使いながら整備をしていけるという事なのでその条件に合うようにこちらでも計画を立てながら進めていきたいと、そういう風に考えて今活動しているところです。

(三輪委員)

自然の石というのはこれを維持していくというのが人間業では大変だと思います。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

はい、単純に保存するという事だけ考えると土の中に埋まっていた方が紫外線も当たりませんので一番良いんですけども、それを公開するとなりますと表に出す必要がありますから、石が劣化しないようにというところで委員さんの意見を聞きながらなんとか進めていきたいと考えています。

(吉川委員)

すみません、もう一つ良いですか。

(毛利教育長)

はい、どうぞ。

(吉川委員)

直接関連しないかもしれないんですけども、昔からここは熊の通り道になっているんですよね。その辺はどうなんでしょうか。3～4年前に恐らくここだと思うんですけども、熊が国道の方まで出て海岸まで歩いて行ったのを業者の方が見て、役所だとかに通報したという事がありましたので。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

今現在熊対策というところで具体的な対策というところは無いです。ただ、遺跡を観たいという方向けに見学会を行っているんですけども、その際は事前に熊っぽい痕跡が認められた場合はですね、見学会を中止として、その他には基本的なところで熊よけの鈴というところでの対策というのを現状としては行っています。

(吉川委員)

熊の目撃情報だとかも出ていますから、その辺も注意しなければならないなと思っていました。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

その辺の対策は実際に公開となってきたら何かしらの対策は必要となると思うんですけども、今現在はまだ未対応という状況です。

(吉川委員)  
わかりました。

(毛利教育長)  
検討事項の中に加えさせていただきます。他よろしいでしょうか。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)  
はい、貴重なご意見等ありがとうございました。以上で報告第1号を終わります。続きまして協議事項の方に入ります。議案第1号「令和4年度一般会計補正予算について」説明願います。

(坂田学校教育課長)  
議案第1号「令和4年度一般会計補正予算」について、ご説明いたします。6ページをお開き願います。項3中学校費、目1学校管理費、節12委託料「PCB廃棄物処理委託料」の補正につきましては、砂原中学校相談室で照明器具の安定器を調査したところPCBが含有されていることが判明したため、PCB廃棄物処理委託料を計上するものものがございます。学校教育課からの説明は以上でございます。

(毛利教育長)  
はい、PCBが発見されたことがありまして、そのための措置でございます。皆様の方からこれは協議事項でございますので、ご質問・ご意見等お願いします。よろしいですか。

(三輪委員)  
これはやらなければならないことですので。

(吉川委員)  
中学校が出来た当時のことを考えると当然そうなりますよね。この他には出なかったんですか。

(坂田学校教育課長)  
調査してここだけという事でしたので、今年度中に処理しなければならないということ、業者もすぐできない状況ですので、本来であれば6月でも良かったんですが、早めに今回補正予算を計上させていただきました。

(毛利教育長)

ということで、議会等にも早めにかけるという状況でございます。よろしいですか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それではその他教育委員会としての話題等ある方いらっしゃいましたらお願いします。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

それでは以上を持ちまして第6回森町教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。